

5人が今夜帰国



地村、蓮池さん家族

曾我さん一家は先送り

【平壤22日共同】北朝鮮に残された拉致被害者家族五人の帰国が決まった。小泉純一郎首相が二十日訪朝し、平壤で金正日総書記と会談し、確認した。五人は同日中に帰国、夜に一年七カ月ぶりに家族と再会する。

帰国するのは、地村保志さん(48)・富貴恵さん(48)夫妻の一女一男と、蓮池薫さん(46)・祐木子(48)さん夫妻の一女一男。曾我ひとみさん(46)の夫で元米兵のジェンキンスさんと娘二人の来日は見送られた。日本政府は首相が拉致被害者家族八人全員を連れて帰ることを最大の目的としている。

平壤市郊外の大同江迎賓館で会談する小泉首相と金正日総書記。22日午前(代表撮影・共同)

たが、実現しなかった。政府は今後、ジェンキンスさんらの早期来日に全力を挙げる。

五人の帰国について一定の前進との受け止め方もあるが、外交慣例上裏例とされる首相の再訪朝の成果としては不十分との声も出てきた。ジェンキンスさんについては、脱走罪で米国から訴追される可能性があり、来日に難色を示しているといわれていた。

二〇〇二年十月に拉致被害者五人が永住帰国した後、日本政府はその家族の帰国・来日を無条件で実現するよう北朝鮮に求めてきた。しかし、北朝鮮は心しなかつたため、事態打開を図り、核問題などの進展を目指し小泉首相自ら訪朝することを決断した。

読者の購読お問い合わせは 東奥日報社販売局  0120-46-5939  24時間受付